

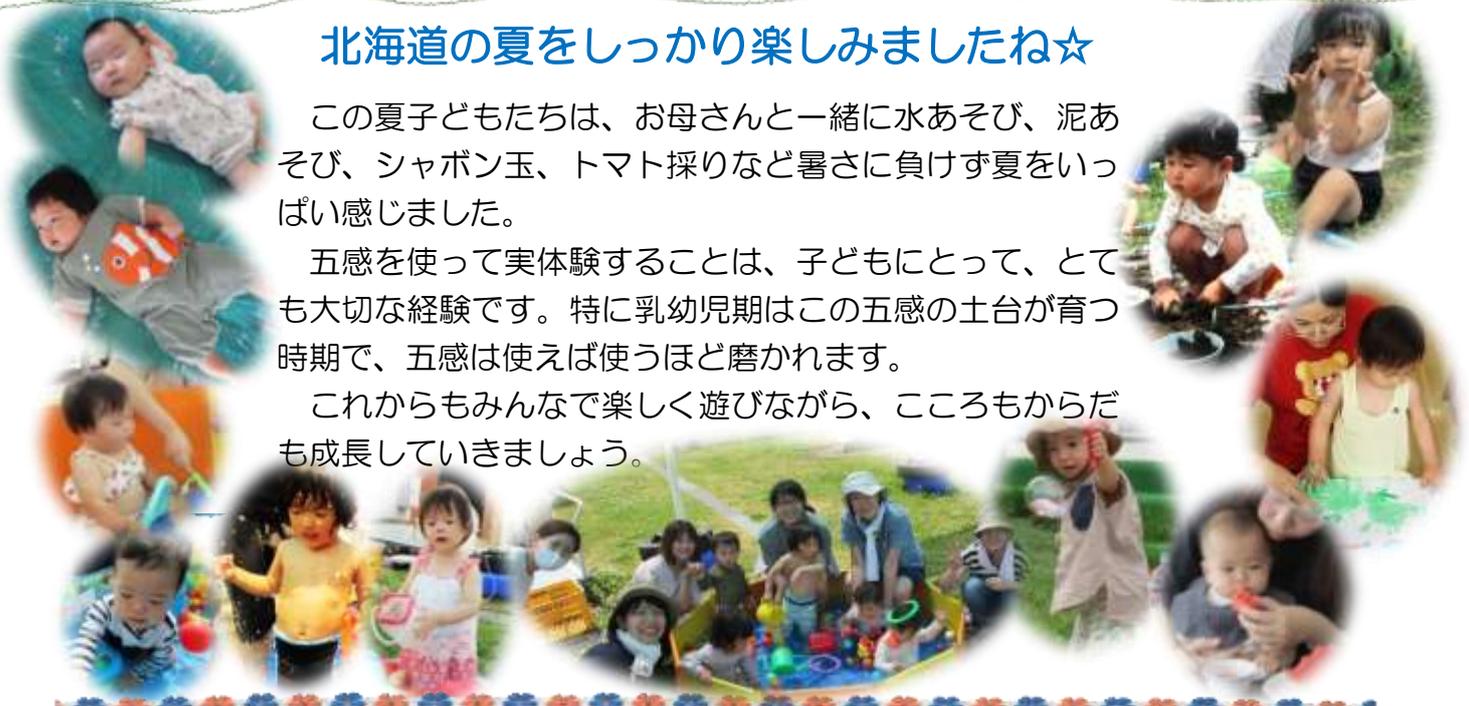
本州ではまだまだ残暑が厳しそうですが、訓子府は朝晩の気温がグッと下がり、秋を感じますね。園庭にトンボが飛んでいる姿も見かけました。春に植えた作物が実る季節になります。おいしく味わえるといいですね。近年、なんだか秋が短く感じます。スポーツ、芸術、食べ物などいろんな秋を満喫しましょう。

北海道の夏をしっかりと楽しみましたね☆

この夏子どもたちは、お母さんと一緒に水あそび、泥あそび、シャボン玉、トマト採りなど暑さに負けず夏をいっぱい感じました。

五感を使って実体験することは、子どもにとって、とても大切な経験です。特に乳幼児期はこの五感の土台が育つ時期で、五感を使えば使うほど磨かれます。

これからもみんなで楽しく遊びながら、こころもからだも成長していきましょう。



すべてのママに伝えたい！ほどほど育児のポイント③

塩見 稔幸 (家族・保育研究デザイン研究所代表)

1 思うようにいかないのは「頑張り不足」ではありません
事前に勉強してからママになる人はいません。誰だって初めてのことばかり、うまくいなくて当たり前なんです。
子どもの育ちが気になる時も、多くは育て方のせいではありません。結論を急がなくても、子どもはそれぞれのペースで育ちます。

2 親の役目は「してあげる」ではなく「見守る」ことです
キチンと育児したいと思うほど、子どもに対して「〇〇してあげなきゃ」と考え、できないとプレッシャーを感じてしまいがち。
健康や安全面、環境づくりでは親がしてあげるべきこともあるけれど、興味を感じることに
出会えば子どもは自ら伸びていきます。親主導でやらせなくても大丈夫。

3 親である前に一人の人間!!
自分の心を優先していい
子どもは疲れると不機嫌になるし、やりたくないことは全力で拒否します。親だって同じ人間、疲れている日もやりたくないこともある。「親なんだからできて当たり前」
「親になったんだからガマンしなきゃ」と自らを縛りすぎないで。頼れるものは人でもモノでも頼って自分で自分を大事にしましょう。

